

登米市教育委員会 5 月定例会議 会議録

会議の名称	令和 7 年第 5 回登米市教育委員会 5 月定例会議	
開催日時	令和 7 年 5 月 2 1 日（水）	
	午後 2 時 3 0 分 開会	
	午後 3 時 4 4 分 閉会	
開催場所	登米市役所 中田庁舎 1 階 1 0 1 会議室	
教育長氏名	教育長	小野寺 文晃
出席委員氏名	委員	高橋 正則
	委員	佐竹 美香
	委員	須藤 勝子
	委員	佐々木 静
	委員	佐々木 伸雄
欠席委員		
傍聴者		
事務局職員氏名	教育部長	新田 公和
	教育部次長兼教育総務課長	阿部 信広
	教育部次長兼学校教育管理監	鹿野 征美
	学校教育課長	猪股 勝徳
	生き生き学校支援室長	高橋 利恵
	学校再編推進室長	安部 保男
	生涯学習課長	千葉 敬子
	文化財文化振興課長	沼田 芳明
	教育支援センター所長	箱石 雄悟
	西部・北部学校給食センター所長	津藤 順
	南部・東部東和・東部津山学校給食センター所長	菊地 武
	迫図書館長兼登米図書館長兼視聴覚センター所長	富士原 幸治
	生涯学習センター所長・石ノ森章太郎ふるさと記念館長	高橋 紀元
書記	教育総務課 課長補佐	堀内 貴光
議題	報告第 11 号	一般事務報告について
	議案第 17 号	登米市学校給食センター運営審議会委員の任命について
	議案第 18 号	登米市立図書館協議会委員の任命について
会議結果	報告第 11 号	報告
	議案第 17 号	決定
	議案第 18 号	決定

() は、発言なし部分

議題・ 発言・ 結果	小野寺教育長	ただ今から、令和7年第5回登米市教育委員会5月定例会議を開会します。開会時間は、午後2時30分とします。
	小野寺教育長	前回の会議録の承認については、事前配付により、内容を確認していただいていることとし、説明を省略させていただきたいと思います。 会議録の内容についてご異議ありませんか。 (一部誤記載あり、修正、差替え再配付とした) (その他、なしの声あり)
	小野寺教育長	ご異議がないものと認め、承認することとします。
	小野寺教育長	会議録署名委員の指名を行います。 私から指名してよろしいでしょうか。 (「はい」の声あり)
	小野寺教育長	ご異議がないようですので、1番 高橋正則委員、2番 佐竹美香委員にお願いします。
	小野寺教育長	日程第1、報告第11号「一般事務報告について」を上程します。 「教育長の一般事務報告について」、私から報告いたします。
	小野寺教育長	今期報告は令和7年4月26日から5月20日までの会議・行事等についてです。出席状況並びにその概要については、資料1の①日程表と資料1の②一般事務報告のとおりです。 なお、事前に資料を配付させていただいておりますので詳細な説明は割愛させていただきます。 この件について、ご質問はありませんか。
	須藤勝子委員	市立小中学校長会議で、教育長指示伝達で考えられないような事件、事故について、どのような指示をされたのか。
	小野寺教育長	大阪西成区の事故というか事件と立川の事件を受けたもので、外部から入ってきてという事件が続いているからです。我々は、安心安全を担保する立場ですが、自分たちだけで守れる範囲にも限界があるわけで、全てが子供たちの安全安心に繋がってるわけではないという意識をもって、常日頃から自分の身は自分で守るということを指導してほしいし、保護者にもそういった内容の話をしっかりするよう指示しました。さらに、そういった事案が発生した時は、躊躇なく警察等の関係機関に連絡すること、そして、教育委員会への報告、連絡することを指示しています。当然、豊里こども園での事件もございましたので、そういったことも含めてお話させていただきました。
	須藤勝子委員	東部教育事務所長の学校訪問で学校側から要望や困りごとなど何かありましたら話せる範囲で願います。
	小野寺教育長	今回は、人事異動後の勤務状況などを確認するのが主な目的になります。また、現時点で退職、転任希望などがあるかないかを中心に聞いています。まだ2日目ですが、教育委員会、県への強い要望という

議題・ 発言・ 結果		ものはありません。県の先生方も一生懸命頑張っていただいているということでご理解をいただきつつ、意見は意見としてしっかりと聞いて回っているという状況です。
	須藤勝子委員	昨年度、新採の先生がこの時期に１ヶ月お休みしていると聞いていました。今年の新採の先生方が順調に勤務されていればいいなと思っているのですが。
	小野寺教育長	昨年は、もう退職を考えてるというような話が出ていましたが、今のところ今年の新採は順調に学校に慣れようと一生懸命頑張っています。今、新任教員がそのまま続けられるというのが当たり前ではない時代になってきています。幼稚園、保育所も同じだろうと感じていますが、やはり子供たちを指導する以上は、しっかり働いてもらわなければなりません。その辺はしっかりと伝えながら、適性をしっかりと見極めてアドバイスしていきたいと思います。
	高橋正則委員	北上水系野球大会と三郡隣接中学校バレーボール大会の参加校がどれくらいあったか、わかれば教えていただきたい。
	小野寺教育長	正確なものはありませんけれども、野球は昨年より１チーム少なかった記憶があります。バレーボール方は昨年より増えています。三郡隣接ですが、最近は一関、蔵王といったところからも参加しているようです。学校数は減ってるんだと思いますが、参加校は意外と維持できているようです。
	高橋正則委員	野球は津山町野球協会で昔のままだと思うんですが、バレーボールが津山町のバレーボール協会から登米市バレーボール協会に変わっていると記憶している。運営されてる実施団体、協会などは減少しているのか。わかる範囲で構いません。
	小野寺教育長	津山町野球協会主催で開催していますが、市もバックアップしていますし、野球もやはり審判確保に苦慮してるようです。三郡隣接の方は、登米市バレーボール協会主催ですが、共催で津山町バレーボール協会が入っています。高橋委員もご存知だと思いますが、各チームに審判が必ず帯同することになっていますので、審判の確保はそういう形でも苦労してるようです。
	高橋正則委員	やはり合同チームは増えているのか。
	小野寺教育長	野球もバレーボールも増えています。野球にはクラブチームも出場しています。
	小野寺教育長	ほかにご質問はありませんか。 (「なし」の声あり)
	小野寺教育長	ご質問がないようですので、報告第 11 号「一般事務報告について」は、以上といたします。
	小野寺教育長	日程第 2、議案第 17 号「登米市学校給食センター運営審議会委員の任命について」を上程します。 事務局から説明をお願いします。

議題・ 発言・ 結果	新田教育部長	(議案朗読)
	菊地南部学校 給食センター 所長	(議案内容を別添資料に基づき説明)
	小野寺教育長	ご質問はありませんか。 (「なし」の声あり)
	小野寺教育長	ご質問がないようですので、議案第 17 号「登米市学校給食センター 運営審議会委員の任命について」は、原案のとおり決定することにご 異議ありませんか。 (「異議なし」の声あり)
	小野寺教育長	ご異議がないようですので、議案第 17 号「登米市学校給食センター 運営審議会委員の任命について」は、原案のとおり決定することとし ます。
	小野寺教育長	日程第 3、議案第 18 号「登米市立図書館協議会委員の任命につい て」を上程します。 事務局から説明をお願いします。
	新田教育部長	(議案朗読)
	富士原迫図書 館長	(議案内容を別添資料に基づき説明)
	小野寺教育長	事務局の説明が終わりました。ご質問はありませんか。
	高橋正則委員	候補者の方々の説明は大変よくわかりました。元図書館機能検討委 員会の委員の方が継続して入られています。最後に説明いただいた 山崎さんは、本当にすごく有意義なお話をいただいていたと思いま す。しかし、図書館協議会の委員として秋田からわざわざ来ていただ くまでのことはあるのかなと思いました。よい助言を頂ける方に来て いただけるのはいいことだと思うんですけど、費用対効果というところ はどうなのかなと思います。今回の方々は皆素晴らしい方々だと思 いますが、候補者を選ぶ時には、予算の面も考えることも必要ではな いかと思います。今回選ばれた方はこれで構わないと思いますので、 次回、候補者を選ぶ時には、もう少し会議の実質的な内容と会議に來 ていただく方は、割り切って考えていく必要もあるんじゃないかなっ て思ったところです。感想です。
	小野寺教育長	ありがとうございます。参考にさせていただきたいと思います。 要望ということでよろしいですか。
	須藤勝子委員	正反対の考え方になりますが、私はこの方のワークショップに何回 か参加させていただきました。お金は確かにかかるかもしれませんが、 広い見識をお持ちで意識を高くしていくということでは、非常に 大切な方をお呼びすることは必要なことだと思います。
	高橋正則委員	私も、図書館を作る時には、必要な方だと思います。

議題・発言・結果		最先端の情報をお持ちの方に来ていただくということでは、適任の方だと思うんですが、私が今言ったのは、市の図書館協議会の委員としては、あり余る方ではないかと思ったからです。そういう方に来ていただくのは大変ありがたいことですが、その辺のバランスというのを少し考えてもいいのではと思ったところです。
	須藤勝子委員	ノルマ的に年に1、2回やっていく協議会ではなく、この図書館協議会が本当に次の新しいステップへ進んでいただきたいという意味ではとてもいい人選だったと思うし、お金をかけてもいいと思います。 私自身は、観光課の方で生物多様性の委員をやっていたんですが、その委員会のトップの方は1年の半分は外国で生活、勉強されている東大の教授の方でした。そういう専門的な方が入られることは、登米市のこの委員会、協議会のレベルが高く維持し続けるためには必要なことではないかと思います。
	佐々木伸雄委員	図書館協議会委員の任命ということですので、この議事に関しては異論はございません。先日の市長選挙では、複合施設の建設の有無だけが争点になっていたようですが、候補者の公約の中に図書館という言葉が出てきおります。ところが、一般の方からすると、図書館はどこにあるの、図書館はどういう時使うの、というのが現状だと思います。登米市の図書館をもっと広報していただき、まずは市民の皆さんが登米市の図書館と聞いた時に、頭の中である程度想像できるぐらいの情報発信をしていただきたいと思いました。
	小野寺教育長	大変貴重なご意見をいただきました。 こういった会議において、様々な気づきをいただけると私も思っておりますので、今のような議論が深まればいいなと思いました。 引き続き、そういった議論ができる場であってほしいと思いますのでよろしく願いしたいと思います。
	小野寺教育長	ほかにご質問はありませんか。 (「なし」の声あり)
	小野寺教育長	ご質問がないようですので、議案第18号「登米市立図書館協議会委員の任命について」は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。 (「異議なし」の声あり)
	小野寺教育長	ご異議がないようですので、議案第18号「登米市立図書館協議会委員の任命について」は、原案のとおり決定することとします。
	小野寺教育長	次に、課長等報告に入ります。 課長等報告(1)「部活動の地域移行について」事務局より説明願います。
	高橋活き生き学校支援室長	(報告内容を別添資料に基づき説明)
	小野寺教育長	事務局の説明が終わりました。ご質問はありませんか。

議題・ 発言・ 結果	高橋正則委員	大変お疲れ様でございます。ここまでの形に持ってくるだけでも相当な労力だったと思います。国、県のガイドラインも示されているとはいえ、ここまで持ってこられたのは本当に大変だったと思います。 受け手側の地域団体がまだまだ不足してるようですが、地域団体の育成も課題のひとつだと思います。1つは資格審査について必要ではないかと思いました。また、指導者研修を率先して実施していくという記載がありましたが、団体の審査について何も規定がありません。そうすると、地域団体の拡大をただお願いするということでは、少し危うい組織、団体の構図になるのではと心配です。 それから、ガバナンスの問題です。地域団体の運営において、国や県、保護者から運営資金が多大に入れば、指導力を発揮できるが、逆に運営資金の少ない自主団体の場合、行政の指導力というのは限界があるのではないかと思います。教員の業務改善と言われる状況だから、思い切って学校は部活動から手を離さなければいけないと思います。 学校側も少し心配なんですけど、この地域移行化の裏の側面とすれば、教員の業務改善があり、土日の部活動からの解放があったと思いますが、資料には、土日も地域団体の指導者として携わることが可能だとあります。 あと、部活で大会に参加するのか、地域団体で参加するのかというところは本当悩ましいところで、部活と地域団体、別な種目でも出られるとなれば、今度は競技者としての二重登録などの問題も出てくると思います。初めから完全なものとはできないとは思いますが、その辺の整理を今後詰める必要があると思います。 教えていただきたいんですが、教員の特殊業務手当というのはなくなるんですか。
	高橋活き生き 学校支援室長	兼職兼業で休日の部活動を指導するという扱いになりますので、学校の部活動としての指導者扱いであれば、手当が出ます。例えば自校ではないところで違う種目の指導者としてやる場合は、違う団体になるので、勤務時間の範囲外なので出ないということになります。
	高橋正則委員	地域団体の運営する資金は、すべて保護者負担になるのですか。
	高橋活き生き 学校支援室	基本的には受益者負担になります。今、モデル事業として実施して、補助金が交付されている市町村はモデル事業が終了すれば、受益者負担となり、これまでの取組みを参考に自分たちでやってくださいという流れになっています。
	高橋正則委員	例えば学校部活動連携というような言葉もありましたが、学校側から休息日を2日以上設けてくださいとかは、あくまでお願いで、その団体の判断ということなんですよ。やはりそういう難しさはあるなと思いました。
	猪股学校教育 課長	土日の関係は、今の部活動ではどちらか休みになっています。大会が近い時期は、ハイシーズンということで土日練習してもいいことになってます。あくまでもそういった決まり事を守っていただく団体が、地域移行の団体になっていくということになります。それを逸脱してしまうとなんでもよくなるので、そういった活動をしてくださいというお願いをしながら認めていくことになります。 先ほどお話しいただいた指導者の条件は、資料の4-④にあります。代表指導者の要件として、公認指導員の配置、県の地域移行団体

議題・ 発言・ 結果		説明会、指導者講習会を受けたもの、学校等で部活動の指導の経験があるものという指導要件があります。団体を持続するためにも複数人いる団体ということで地域移行団体に認めていくことになってますので、誰でもいいというわけではありません。 登米市の場合は、スポーツ少年団活動も盛んに行われていますので、それが土日の部活動の代わりになっているところもあります。そのような団体の協力を得ながら、進めていければと思っています。
高橋正則委員		指導者の方が資格を取り、講習を受けてその中で指導してもらうのが願うところです。昔から外部指導者の方々にお願いしてきた経緯はありますが、なかなか広がらない。今度は、受け入れ団体を増やさなければならぬ状況で予算的な措置も何もなく、難題だと思います。Q & Aを作成してるようなので、どんどん厚くしながら、ホームページに上げて随時更新して、その状況を説明していくという広報活動を含めた取り組みで混乱しないように進めてもらいたいと思います。
小野寺教育長		本当に貴重なご意見だと思います。何も支援もないという状況で、教育長部会でも色々話するんですが、率先して推進していた町も少し後退してます。あまり急ぐ必要はないという雰囲気を感じている教育長、教育委員会が増えてきています。先に進めたいけどなかなか進められないっていうのが感覚であります。文部科学省も期限を 2030 年まで 5 年伸ばしてきており、地域移行が地域移管に言葉が変わったり、まだまだそういった部分が固まってないようですし、大会への参加についての話なども決定していないようです。 今のような意見を頂戴して、教育長部会で声を大きくして国や県に要望していかなければと思いますので、今のようなご意見は本当にありがたいと思います。 スポーツ庁と中体連が話し合いをしているのかというのがやっぱり教育長さんたちも疑問に持っているようです。 私も担当の方にはあまり急ぐ必要はないと指示しています。状況を見ながら進めていくことにして、それよりも、子供たちが出たい大会に出れるような体制をキープしていくのが今の段階では大事だと思っています。
高橋正則委員		中体連、部活の活動は、3 年間と言いながら実際は 2 年間で終わってしまう。その大会が、県や東北大会、全国大会につながる本大会になったとき、ある市は、地域移行が遅れているからから部活動の体制で参加してます。ある市はもう無理やり地域移行したから、各種目ごとに 1 番強い市の選抜チームで参加するということになると、子供たちに不公平感が生まれるので、そのようなことがないようにしてほしい。教育長さん方の情報交換の中で、地域格差がないような形で実施できるように、ぜひお願いしたい。子供たちがかわいそうなので。
小野寺教育長		地域の不公平感というのを踏まえながら、いろんな意見を頂きながら教育長部会のなかでお話しさせていただいて、県の統一した見解として要望活動を進めていくさせていただくので引き続きいろんなご意見を頂ければと思います。
須藤勝子委員		ひとつ不安に思ったのが、PR 動画を見た外部指導者が 19 人で非常に少ない。これが、資料 4-④にある 17 団体という結果なのではないかと思っています。これから登録団体は増えていくんだと思いますが、先ほど佐々木委員さんからお話のあった広報が大切で、誰に対してどのよう

議題・ 発言・ 結果	小野寺教育長	な広報をするのかが今後の課題なのかなと思いました。 その通りだと思います。いろんな会議の場を捉えて PR 動画を見ていただく機会を設けることが必要だと思います。
	佐々木伸雄委員	私も 25 年前に指導者資格取得した経験がある。当時のことですが、指導者資格を取得するのに 7,000 円、年間の登録料と保険料で毎年 1,200 円くらいかかったと思います。子供が卒業してからもしばらく登録していたことを思い出しました。 部活動の地域移行については、中体連組織の運営をスポ少の団体に担ってもらう形がいいのではないかと思います。学校で運営している中体連とスポ少を運営しているスポーツ庁でやってることが噛み合っていないからなかなか進まないのだと感じています。理解を深めることは必要ですが、ある程度行政側で主導的に進めた方が進むのではないかと個人的には思います。
	小野寺教育長	貴重なご意見ありがとうございました。 ここに文化的なクラブ活動が出てくるので、ますます複雑怪奇になってくるのかと思っていますが、今お話いただいた強制的な手法ももしかしたら必要になるのかなと思います。全体的な見直しが必要だと思います。
	高橋正則委員	指導者の方の登録料や保険料はせめて国や県、もしくは市で考えないと地域団体は育たないと思う。本来は国で出すべきと思うが、その辺は考えていただきたい。
	小野寺教育長	見直すいい機会なのかなと思いますので、今頂いた意見も教育長部会で伝えたいと思います。
	佐竹美香委員	先日、部活動で県外の大会に出場したお子さんの保護者の方から相談を受けたんですが、市で県大会以上の大会に出場する場合に補助が出ますが、交通手段によって補助の対象になる場合とならない場合があるということがわからず、学校からも説明を受けなかったようでした。ペアの競技で出場したそうですが、結果、一人は補助が出て、一人は補助が出なかったということが発生したようです。地域移行が進むなかで、ガイドラインには、部活のあり方、大会のあり方、練習のさせ方とかさせる側のことだけ明記されていますが、実際に大会に出たときの費用負担は何も記載がないので、またそういうトラブルが増えるのではということで相談がありました。 今後、ガイドラインに補助的な内容が盛り込まれるのか、移行することによってその補助の仕方が変わってくるのかどうかっていうのを心配されていたんですけど、その辺どうなるのでしょうか。
	猪股学校教育課長	市の中体連補助があります。中体連主催で優勝したチームが代表で行く場合はバス代を補助します。中体連は市大会、県大会、東北大会、全国大会という流れがあります。それ以外の大会になる場合については、学校で参加することになるのか。個人で競技団体として参加しない場合とでは補助の要件が変わってきます。あとはそれ以外の補助になりますと、文化振興補助金というのがあります。全国大会の交通費、宿泊費の 2 割を補助しています。地域移行団体で全国大会になれば、当然、部活動となると思いますので、市の補助金になっていくのかなと思います。 個人の場合は、登米市のお子さんであれば補助されます。他の市の方と組んでいる場合もありますので、そういった

議題・ 発言・ 結果		形の場合もよくありますが、市外の方は、補助金はなく登米市の子は補助ありますというのも増えています。その辺で状況によって活用の仕方が変わってくるというのが実情になっています。
	佐竹美香委員	学校の先生からも説明されず結局補助は受けられなかったようでしたし、大会前に申請が必要だったようでした。是非、ガイドラインに入れていただけるといいのですが。大会後にトラブルになるとまた違うことで悩むことになるので。
	猪股学校教育課長	学校以外での参加になると、学校と関係なくなってしまう。競技団体の大会の場合は、その競技団体や責任者が申込みますが、そうした場合には学校ではわからない部分が出てくるのかなと思います。まず、何の大会にどの区分で参加するのか確認していただくことが必要です。
	小野寺教育長	大会自体も多く、煩雑になっています。登米市ほど手厚く補助している自治体はないと思っていますが、佐竹委員からお話しあったようにガイドラインに1項目でもあればと思いますが、今後そういった視点も必要だと思いますので参考にさせていただきます。
	小野寺教育長	その他ご質問はありませんか。 (「なし」の声あり)
	小野寺教育長	ご質問がないようですので、課長等報告(1)「部活動の地域移行について」は、以上といたします。
	小野寺教育長	以上で議案は全て終了しました。 それでは、次回の教育委員会定例会議の開催日程についてお願いします。
	阿部次長兼教育総務課長	今回は、令和7年6月27日(金)午後1時30分の開催でお願いしたいと思います。会場は、101会議室でお願いします。
	小野寺教育長	令和7年6月27日(金)に行うことにご異議ありませんか。 (「異議なし」の声あり)
	小野寺教育長	ご異議がないようですので、次回の定例会議の日程は令和7年6月27日(金)に行うことで決定します。
	小野寺教育長	午後3時44分、閉会を宣言します。 大変ご苦労様でした。
	小野寺教育長	ここで、午後3時55分まで11分間休憩することとします。 (休憩 午後3時44分～午後3時55分)
その他	小野寺教育長	その他 以下の5件について、資料に基づいて事務局等から説明し、内容を確認していただきました。 (1) 4月生徒指導状況について (2) 令和7年度東部探採地区協議会事務日程関係について (3) 市制20周年記念イベント「第36回長沼レガッタ」及び

	「スポーツ体験会」について (4) 高校生絵画展について (5) その他 散会時間は、午後4時3分。 上記記録は正確であることを認め、ここに署名する。 令和7年7月 日 会議録署名委員 委 員 ㊟ 委 員 ㊟
--	--

その他の概要

- (1) 4月生徒指導状況について（高橋活き生き学校支援室長 説明）
- (2) 令和7年度東部採択地区協議会事務日程関係について（高橋活き生き学校支援室長 説明）
- (3) 市制20周年記念イベント「第36回長沼レガッタ」及び「スポーツ体験会」について
（千葉生涯学習課長 説明）
- (4) 高校生絵画展について（沼田文化財文化振興課長 説明）